

『図説 わかる土木計画』第2版第2刷 正誤表

本書において下記の誤りがございました。

深くお詫びいたしますとともに、ここに訂正させていただきます。

2023年1月 (株)学芸出版社

頁	該当行/箇所	誤	正
36	数式3つ目	$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma}} e^{-(x-\mu)^2/2\sigma^2} \quad (-\infty \leq x \leq \infty)$	$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma}} e^{-(x-\mu)^2/2\sigma^2} \quad (-\infty \leq x \leq \infty)$
161	演習問題 6-1 (2)	<p>$V_2 = 11,200$</p> <p>$F = V_2/V_1 = 0.014$</p> <p>F_0 は、(1)と同様に、分子の自由度が3、分母の自由度が9、危険率5%のF分布表から $F_0 = 3.863$</p> <p>$F < F_0$ となり、帰無仮説は棄却できない。すなわち、「鉄鋼、自動車、コンピューター、医薬品の製品出荷額に違いがない」。</p>	<p>$V_2 = 5332916.667$</p> <p>$F = V_2/V_1 = 6.573$ となり、</p> <p>F_0 は、(1)と同様に、分子の自由度が3、分母の自由度が9、危険率5%のF分布表から $F_0 = 3.863$</p> <p>$F > F_0$ となり、帰無仮説は棄却される。すなわち、「鉄鋼、自動車、コンピューター、医薬品の出荷額に違いがある」。</p>